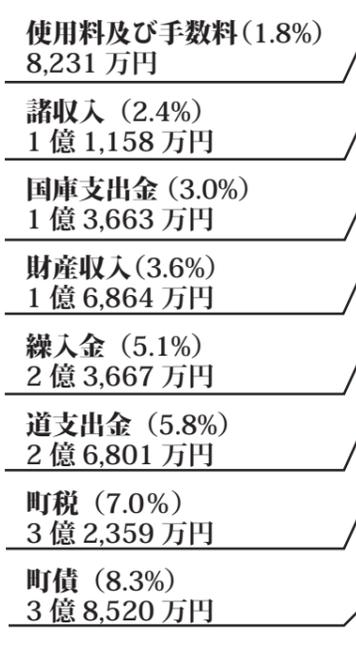
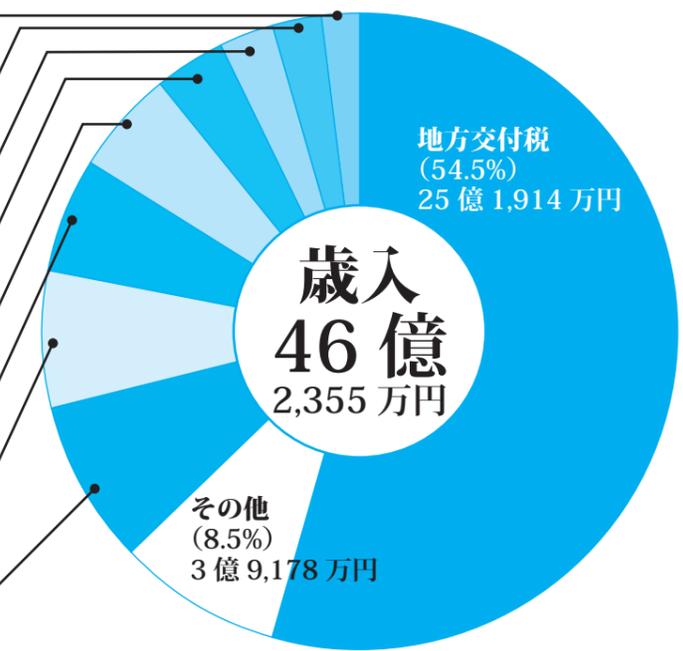


平成26年度 町の決算

まちの家計簿といえる平成26年度決算を公表します。
町民みなさんから納めていただいた税金や国、道からの補助金等がどのように使われているかをお知らせするものです。年々、厳しくなる財政状況の中、節減に努め効率的な財政運営を行ない財源確保に最大の努力を図っていききたいと思っておりますので、町の行政について、皆さんの一層のご理解とご協力をお願い致します。



税区分	決算額	構成比	町民一人当たり
町民税	1億 5,128万円	46.7%	46,318円
固定資産税	1億 3,293万円	41.1%	40,702円
軽自動車税	827万円	2.6%	2,532円
たばこ税	2,118万円	6.5%	6,486円
入湯税	993万円	3.1%	3,040円
合計	3億 2,359万円	100%	99,078円

区分	平成26年度末現在高
農林水産	3,206万円
土木	5,112万円
公営住宅	5億 7,905万円
公共事業等	9,080万円
過疎対策事業	12億 6,148万円
一般会計出資債	1,539万円
緊急防災減災事業債	2億 1,230万円
臨時財政対策債	6億 6,266万円
その他	6,220万円
合計	29億 6,706万円

土地	5,430,710㎡
建物	107,571㎡
山林	3,554,824㎡
車輜	80台
絵画	2点
有価証券	508万円
出資金等	3,364万円
基金(一般会計分)	28億 5,640万円
備荒資金組合納付金	5億 1,441万円

一般会計

一般会計の決算額は歳入が、46億2355万円、歳出が、46億8698万円、差引き1億3657万円の黒字決算となりました。
町民の皆さんが納めた町税は3億2359万円、1人当りは99,078円負担したことになります。
これに対し、1人当りに使われた費用は137万3846円で、黒字決算とはいえず、自主財源に乏しくその大半を地方交付税や町債(町の借金)に頼る財源内容となっています。

※備荒資金組合納付金…災害による減収補てん・災害応急復旧事業費やその他災害に伴う費用にあてるために、道内の市町村が一部事務組合を設立し積立を行っているもので、使い道が災害関連等に限定される普通納付金と、使い道に制約の無い超過納付金に分けられています。

特別会計

特定の事業に使われる経費を一般の歳入歳出と区分して経理する会計です。

公営企業会計

地方公営企業とは、地方公共団体が地域住民の福祉の増進を目的として経営する企業です。

※特別会計と公営企業会計は、税・使用料・負担金・国道支出金のほか一般会計からの繰入金等で運営がなされ、効率的運用に努めています。

会計別	歳入	歳出
養護老人ホーム	2億 9,773万円	2億 7,219万円
特別養護老人ホーム	3億 2,663万円	3億 2,555万円
高齢者グループホーム	4,225万円	4,014万円
介護保険	3億 5,290万円	3億 4,454万円
国民健康保険	5億 6,079万円	4億 9,372万円
後期高齢者医療	5,585万円	5,580万円
公共下水道	1億 9,903万円	1億 9,803万円
合計	18億 3,518万円	17億 2,997万円

会計名	区分	決算額	
水道事業会計	収益的	収入	1億 3,123万円
		支出	1億 3,906万円
	資本的	収入	231万円
		支出	3,437万円

まちの家計簿

用語の解説

- 総務費…町の内部管理・税務・戸籍・選挙・統計などに要する経費です。
- 民生費…障がい者や高齢者等に対する福祉の充実、保育園運営などの経費です。
- 衛生費…生活環境の保全、ごみ処理などにかかる経費です。
- 農林水産業費…農業の振興に要する経費、生産基盤の整備などに要する経費です。
- 商工費…企業の振興及び夜高あんどん祭りなど観光の振興などに要する経費です。
- 土木費…道路維持改修、除排雪、公営住宅などに要する経費です。
- 消防費…火災の予防・消火や防災などの経費です。
- 教育費…幼稚園、小中学校の教育の充実、文化・スポーツの振興などに要する経費です。
- 公債費…町の事業を行うために借り入れた資金の返済に充てる経費です。
- 職員費…職員給与などを支払う経費です。

平成27年度の上半期（4月～9月）の収支状況をお知らせ致します。限られた財源のなかで健全財政を堅持しつつ町民生活の向上を重点に、行財政の効率的な運営に努めています。この公表を通じ、町の財政がどのような状況にあるかをご覧いただき、住みよいまちづくりのためにこれからも一層のご理解とご協力を願います。

特別会計			
会計別	予算額	収入済額	支出済額
養護老人ホーム	2億9,196万円	1億5,223万円	1億783万円
特別養護老人ホーム	3億2,235万円	1億101万円	1億2,115万円
高齢者グループホーム	4,072万円	1,561万円	1,626万円
介護保険	3億8,746万円	1億4,918万円	1億4,046万円
国民健康保険	5億6,781万円	2億1,973万円	1億7,798万円
後期高齢者医療	6,043万円	1,440万円	1,487万円
公共下水道	2億2,234万円	8,825万円	9,011万円
合計	18億9,307万円	7億4,041万円	6億6,866万円

公営企業会計			
会計名	区分	予算額	執行額
水道事業会計	収益的	収入	1億4,172万円 / 5,258万円
		支出	1億6,411万円 / 4,971万円
	資本的	収入	240万円 / -円
		支出	4,968万円 / 1,140万円

町債の借入予定	
事業名	借入予定額
過疎対策事業債	3億8,490万円
地域密着多機能型総合センター建設事業	1億60万円
認定こども園整備事業	1億4,050万円
弁天通線改良事業	5,340万円
除雪ロータリー購入事業	1,120万円
防災行政無線	6,980万円
戸別受信機整備事業	
沼田厚生クリニック医療機器整備事業	940万円
公共事業等債	1,020万円
経営体育成基盤整備事業	1,020万円
臨時財政対策債	1億3,110万円
合計	5億2,620万円

沼田町の財政状況を

家計にたとえたら・・・

沼田町の財政を家計にたとえた場合、年収約235万円（税収・税外収入）と親からの仕送り約218万円（地方交付税）を合算した約453万円が年額収入となり、このうち約40万円は借金の返済（公債費）に充てなければならず、実際に可処分所得として使えるのは約413万円となります。一方、この家計は、家計費（一般歳出）として年間約463万円を必要としており、収入でまかないきれない約50万円は、借金（公債金収入）として調達しなければなりません。その結果平成27年度末には、ローン残高（公債残高）は約315万円、貯金残高（基金残高）は約274万円となっています。

家計に例えた場合	
○1世帯年収	234万7,300円
○親からの仕送り	217万7,380円
○ローン元利払（B）	39万8,550円
○可処分所得【年収+仕送り-（B）】	412万6,130円
○家計簿	463万1,530円
不足分=借金	50万5,400円
例：除雪機購入	
※除雪機購入等の必要な経費の不足分（可処分所得の不足分）を補うのが借金です。	
○ローン残高予定	314万8,430円
○貯金残高予定	273万9,610円

平成27年度財政状況【一般会計】	
○税収+税外収入	23億4,730万円
○地方交付税	21億7,738万円
○公債費（A）	3億9,855万円
○税収等+地方交付税-（A）	41億2,613万円
○一般歳出	46億3,153万円
町債収入	5億540万円
例：除雪ロータリー購入事業	
※毎年必要なお金でなく、臨時的に必要な多額の事業費の財源とするのが町債です。	
○町債残高予定（H27年度末）	31億4,843万円
○基金残高予定（H27年度末）	27億3,961万円

歳入 43.4% 歳出 32.6%

予算額：50億3,008万円
収入済額：21億8,258万円

予算額：50億3,008万円
支出済額：16億3,741万円

21億7,738万円	地方交付税
16億2,071万円 (74.4%)	町債
5億540万円	その他
- (0.0%)	繰入金
4億3,510万円	国庫支出金
2億2,700万円 (52.2%)	道支出金
4億2,032万円	町税
- (0.0%)	財産収入
4億1,576万円	諸収入
4,746万円 (11.4%)	使用料及び手数料
4億285万円	
2,932万円 (7.3%)	
3億1,631万円	
1億5,744万円 (49.8%)	
1億6,935万円	
5,217万円 (30.8%)	
9,944万円	
843万円 (8.5%)	
8,817万円	
4,005万円 (45.4%)	

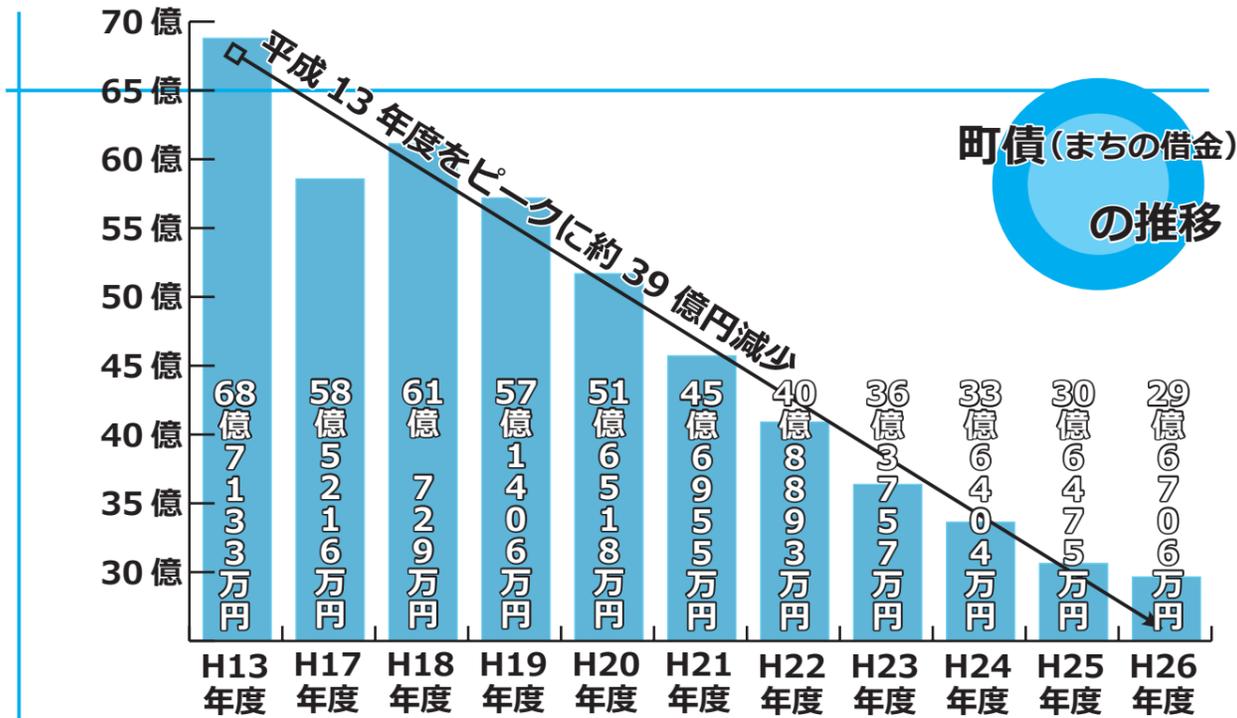
総務費	8億8,918万円
民生費	7億7,782万円
職員費	3億210万円 (46.6%)
農林水産業費	6億180万円
土木費	5億5,350万円
公債費	3億9,855万円
その他	2億8,544万円
衛生費	2億8,124万円
諸支出金	2億6,470万円
教育費	13万円 (0.0%)
商工費	2億1,692万円
	1億8,585万円 (85.7%)
	1億1,221万円
	5,748万円 (51.2%)

※上段が予算額、下段が収入・支出済額で（ ）は執行率です。

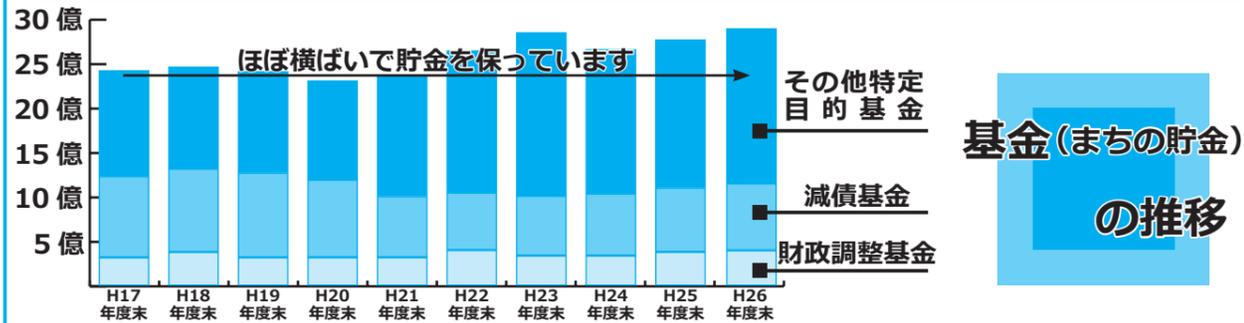
町税の収入状況

税区分	予算額	調定額	収入済額	収歩	入合
町民税	1億4,447万円	1億3,522万円	4,901万円	36.2%	
固定資産税	1億3,377万円	1億4,090万円	7,876万円	55.9%	
軽自動車税	827万円	832万円	822万円	98.7%	
たばこ税	1,960万円	1,075万円	1,074万円	100%	
入湯税	1,020万円	480万円	480万円	100%	
合計	3億1,631万円	2億9,999万円	1億5,153万円	50.5%	

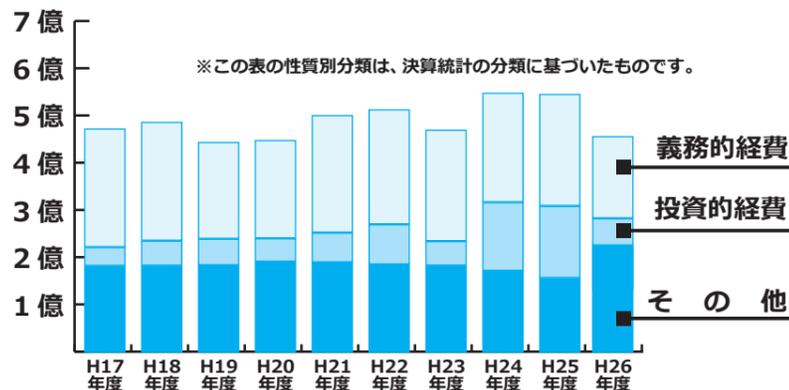
まちの家計簿



年度	財政調整基金	減債基金	その他特定目的基金	年度末基金残高
平成17年度末	3億1,507万円	9億694万円	11億8,273万円	24億474万円
平成18年度末	3億7,515万円	9億3,174万円	11億3,737万円	24億4,426万円
平成19年度末	3億1,559万円	9億4,385万円	11億3,408万円	23億9,352万円
平成20年度末	3億1,598万円	8億6,746万円	11億723万円	22億9,067万円
平成21年度末	3億1,632万円	6億8,219万円	13億5,413万円	23億5,264万円
平成22年度末	3億9,642万円	6億4,196万円	15億8,794万円	26億2,632万円
平成23年度末	3億3,478万円	6億6,898万円	18億2,420万円	28億2,796万円
平成24年度末	3億3,513万円	6億9,280万円	16億1,196万円	26億3,989万円
平成25年度末	3億7,597万円	7億1,663万円	16億5,616万円	27億4,876万円
平成26年度末	4億8,600万円	6億4,650万円	17億2,390万円	28億5,640万円



性質別経費(歳出)の推移



グラフと数字で見る 財政推移

地方交付税の推移

平成26年度の地方交付税額(普通交付税、特別交付税)は、25億1914万円です。昨年(26億2113万円)より1億199万円減少しました。

また、平成12年度が地方交付税額のピークの年(29億3441万円)であり、比較すると約86%の水準となっております。

町債(まちの借金)の推移

平成26年度末の町債(借金)残高は、29億6706万円です。昨年(30億6475万円)より9769万円減少しました。

ピーク時だった平成13年(68億7133万円)と比較すると約39億円減少しています。

基金(まちの貯金)の推移

平成24年度は、沼田小学校改築事業が完了したことにより、沼田小学校改築整備基金を学校教育振興基金に振り替え、子どもたちの教育の振興に役立てることを目的として基金を整備しています。

財政調整基金とは、災害復旧、その他緊急を要し、又は必要やむを得ない財政需要に応ずる財源を積立てるための基金です。

減債基金とは、町債の償還に必要な財源を確保し、もって将来にわたる町財政の運営に資するための基金です。

事業に要する経費、災害の復旧に要した経費などです。その他、公共物の維持や補修などのその他経費です。

地方交付税の推移

